

調査・研修等報告書

氏名	藤田高志	提出年 月日	平成 26 年 11 月 10 日
調査等 名称	町村議会議員研修会（地方政治の課題）		
調査等 の日時	平成 26 年 10 月 28 日 13:00～	場所	ビックパレットふくしま
調査等 の内容	地方政治の課題 ～転換を迎える議会～ について		
意見 感想	・ 変わる地方議会		
	議会基本条例の制度化と評価について、他市町村での議会基本条例の		
	制度化と評価について、市町村合併により一時的議員定数の増加により		
	議会運営が困難となったことが背景にある。		
	評価は難しいが、今度とも改正を加えながら進めることが必要と感じた。		
	・ 議会報告会について		
	全国的に報告会開催について、批判的な意見が根底にある。		
	「決まった事を聞かされても仕方ない」意見要望を述べる住民が多い。		
	加えて参加者の減少、今後の対応として、町政議会運営に関心ある		
	住民を「議会モニター」として迎え、政策・問題の注文等、住民の注文を		
	事前聴取し町政運営に反映させることも良いアイデアである。		
	・ 議員人になることへの壁と勇気		
現状、サラリーマン議員での生活を余儀なくされている現状、			
「議員の3ない」 = ・金ない ・人がいない ・時間がない			

将来的には、地方議員も「職業として政治」の方向で所得補償を含め

報酬等の見直しを行い、若い議員の参加促進がもっとも重要である。

調査・研修等報告書

氏名	吉田 克則	提出年 月日	平成 26 年 11 月 18 日
調査等 名称	町村議会議員研修会		
調査等 の日時	平成 26 年 10 月 28 日 午後 1 時	場所	ビックパレットふくしま
調査等 の内容	研修内容は下記のとおり		
	① 地方政治の課題転換期を迎える議会 講師 明治大学名誉教授 中邨 章氏		
	② これからの政治経済のゆくえ 講師 帝京大学経済学部教授 黒崎 誠氏		
意見 感想	① 地方政治の課題転換期を迎える議会		
	議会改革の展開から、はじまり議会基本条例の制定意義、議会報告会の開催と実績・改善の必要性及び議員間討議。議会改革と住民の関心等の変わる地方議会の課題を挙げた。これからの議員像は 1. 国・首長に立ち向かう議員 2. 外部志向のつよい議員 3. ICTを駆使できる議員 4. 勉強する議員、族を目指す議員 5. 若さを保つ議員、女性・子供に優しい議員とまとめた研修を受けた。		
	② これからの政治・経済のゆくえ		
	政治・経済のゆくえと題しての研修では安倍政権、政治情勢を中心に講演した。今後の政治経済の行方を探る研修会であった。		

調査・研修等報告書

氏名	鈴木 茂		提出年 月 日	
調査等 名称	町村議会議員研修会			
調査等 の日時	平成26年10月28日	場所	ビッグパレットふくしま	
調査等 の内容	研修1、地方政治の課題-転換期を迎える議会-			
	講師 中野章氏			
調査等 の内容	研修2、これからの政治 経済のゆくえ			
	講師 黒崎 誠氏			
意見 感想	研修1については、地方政治(議会)の今後			
	の課題を大きく3つに分けて、述べてくれた。1つ目は改革の現状報告、2つ目は基本条例制定について話した。3つ目は、議員報酬と定数の問題について、議員は、割に合わない仕事であると言われた。3つ目に、将来どのような考えかの問題では、議会は、議会を多様化して、住民の関心を呼び起こすこと、議員ではITCの使える若い人や女性議員を増やることが望ましくと、語られた。その他にもいろいろと、議会人として、参考になる話し話を聞くことができた。為になる研修でした。			

調査・研修等報告書

氏名	鈴木 孝則	提出年 月日	平成26年11月15日
調査等 名称	町村議会議員研修会		
調査等 の日時	平成26年10月28日	場所	ビックパレット
調査等 の内容	一部		
	地方政治の課題—転換期を迎える議会—		
	明治大学名誉教授 中邨 章 氏		
	二部		
	これからの政治・経済のゆくえ		
	帝京大学経済学部教授 黒崎 誠 氏		
意見 感想	議員定数、報酬についてはこれがベストというものはないので、各議会が		
	それぞれの判断で決定すべきものである。一部の大きな声を尊重しつつ		
	も感わされず、当然であるが各議員の判断を集約し決定すべきと思う。		
	これからの議員像という中で「ICTを駆使できる議員」というのがあるが		
	まさに埴町議会が取り組んでいる事案であり各議員の理解を得ながら進め		
	ていかねばならないという思いを強くした。		
	二部		
	地方議会には当てはまらないが、現状を見ると政治は一寸先が闇とはよく		
	言ったものだと思う。		

調査・研修等報告書

氏名	鈴木 幸江		提出年 月日	
調査等 名称	町村議会議員研修会			
調査等 の日時	平成26年10月28日	場所	ビッグパレットふくしま	
調査等 の内容	1. 地方政治の課題～転換期を迎える議会～ 講師 明治大学名誉教授 中邨 章氏			
	2. これからの政治・経済のゆくえ 講師 帝京大学経済学部教授 黒崎 誠氏			
意見 感想	1. 転換期を迎える議会			
	<p>① 議会改革の現状について および 課題について 具体的事例を示しお話を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 改革先行型と条例先行型の改革のすゝめ方から改革の評価（否定的または積極的評価）および議会活動について、埴町議会活動について、改めて自己評価・活動のあり方等についてまた、条例について客観的に考える機会となった。参考として継続的な条例の検討すべきと思う。 議会人になることへの壁と勇気の項について 議員の高齢化と女性議員の増加については、今後の大きな課題に同感。次項の報酬との関連もあるが、若い世代の参加促進さらに女性の参入とくに女性定数（定数5割の導入）提案について検討・協議を準備したい。 			

② 課題：報酬と定数の課題 について

議会活動に要する時間の確保は、議会人として最優先は当然とはいえ、報酬が低いというのが現実である。世代の若返りのためにも再検討を要する。市民に支持される議会活動、改革をすすめるから、近い将来 積極的に検討すべき課題である。

③ 議員・議会の将来 について。議会人の努力はなぜ評価されないのか？

画一化した議会から多様化した議会へのテーマで今後の議会活動について多く提案された。また、選挙制度の改革提案は興味深い。リットデリットは当然あるが市民の代表はより地域に近い(密着した?)存在である議会人として考えるも良いのではないかと思う。

④ 最後に今後の示唆として

六次産業の振興、地域の自然(含温泉)の活用、中小企業・自治体の育成 について話された。改めて 埴町と自身の活動に関して考えさせられた 実りある研修であった。

ふ、これからの政治、経済のゆくえ。

関心も高く、時機を得た内容であった。

調査・研修等報告書



氏名	小 貫 初 枝	提出年 月日	
調査等 名称	平成26年度 町村議会議員研修会		
調査等 の日時		場所	ビッグパレット 福島
調査等 の内容	研 修		
	○ 地方政治の課題 - 転換期を迎える議会 明治文学名誉教授 中邨 章 氏		
	○ これからの政治・経済のゆくえ 帝京大学経済学部教授 黒崎 誠 氏		
意見 感想	前段 中邨章先生の講義は、遅れて 行きましたので、講義がきくことができませんでした。		
	後段の黒崎 誠 先生の講義も内容がよく 理解できませんでした。経済学部の教授の立場から、 地方議会に於ける 経済活性化の成功例等を きけたら今後の参考になったとも思われますが、私のきき取り が正確かどうかはわかりません。とも思いました。		